

## 日本救急看護学会 FA インストラクターを取得した皆様へ

本研究は、日本救急看護学会倫理委員会の承認（No. 20230328 号）を得ており、下記に該当するファーストエイドインストラクター入力ケースレポート項目別データ（以下、データ）の情報をを用いて研究を行います。この研究に関してご質問がございましたら、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。

### 研究テーマ

「看護師が認識するファーストエイド場面と看護実践の特徴－全体像モデルを用いた分析－」の研究ご協力をお願い

日本救急看護学会ファーストエイド委員会では、FA インストラクターのご協力を受けて、FA 実技コース、FA インストラクターコースに取り組んでいます。この取り組みにより、自分の得意なスキルと力量の限界を知る機会になった、何もない条件でスキルを実行する能力を養う機会になった、実践的なスキルが身についた、のように、看護師は個々の知識と技術の補完ができたと感想を述べています。しかし、受講直後、看護師は、どのような場면을 FA 場面として認識し、実際に現場でどのように傷病者へ対応しているのか把握はまだできていません。

現在、FA インストラクターとなった皆様には、5 年ごとに自身が経験した FA 場面と対応について印象に残った 5 場面以上を取りあげて、『ファーストエイドインストラクター入力ケースレポート項目別データ』入力フォームに従ってデータを登録していただいています。登録されたデータは、753 例（2020 年現在）になりました。

そこで、このデータを分析することによって、看護師がどのような場면을 FA 場面として認識し、実際に現場でどのように傷病者へ対応しているのかを把握します。引き続き、医療の現場だけでなく生活の場における看護師の社会貢献について検討していきたいと考えています。

そのため、皆様が登録したデータの情報から、個人情報削除した上で、対応した事例の年齢層・性別・基礎疾患分類、急変状況（場所（院内・院外）、対応状況（対応内容・転帰）に関する項目などの必要な情報のみを研究に使用します。

本研究において、個人情報は保護されており、FA インストラクター皆様の生命、身体、財産、その他の権利、利益が侵害されることはありません。研究から生じる知的財産権は、研究者および日本救急看護学会に属し、皆様には生じません。研究の結果の分析および結果の分析に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

本研究において、皆様の個人が特定される情報（氏名、年齢、所属等）や、事例の対象者が特定される内容（住所、氏名、発生した具体的な場所等）を削除した上でデータを取り扱い、情報をまとめた形で報告されますので、個人を特定される情報が公開されることはありません。「ご自身が入力したデータの一部が使用されることに不都合がある場合」や、「本研究への協力を希望されない場合」、その他のご質問がある場合には、下記の問い合わせ先へ遠慮なくお申し出ください。お申し出により、皆様に不利益が生じることはございません。なお、お申し出の期間は、2023 年 9 月 6 日（ホームページ掲載後 2 ヶ月間）までとさせていただきます。また、本研究は、日本救急看護学会学会誌への掲載等を予定しています。

ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

研究対象期間：2016 年 12 月 1 日～2020 年 6 月 30 日までの 3 年 7 ヶ月間

研究期間：2023 年 6 月 19 日～2024 年 9 月末日

研究機関名：日本救急看護学会ファーストエイド委員会

研究代表者：河合 正成

問い合わせ先：〒914-0814 敦賀市木崎 78-2-1

敦賀市立看護大学看護学部看護学科 准教授 河合 正成

連絡先番号：0770-20-5500（代表）

m-kawaai●tsuruga-nu.ac.jp

（メールを送信する場合は上記記載のメールアドレスの中●を@に変更して送信ください）